



第17回掛川モデル推進協議会 R5.12.22



①令和5年度の事業状況及び令和6年度の事業計画

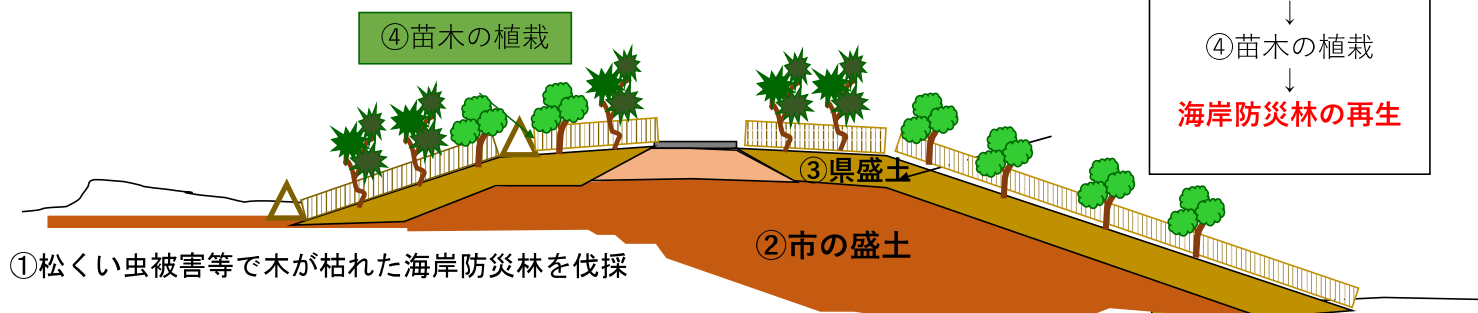
掛川モデル＝津波対策と海岸防災林の再生

市事業名 海岸防災林強化事業
 県事業名 “ふじのくに森の防潮堤づくり”事業

県と市が
 連携して
 実施

事業の流れ

- ①海岸林の伐採
- ↓
- ②市の盛土
- ↓
- ③県の盛土
- ↓
- ④苗木の植栽
- ↓
- 海岸防災林の再生



事業進捗率

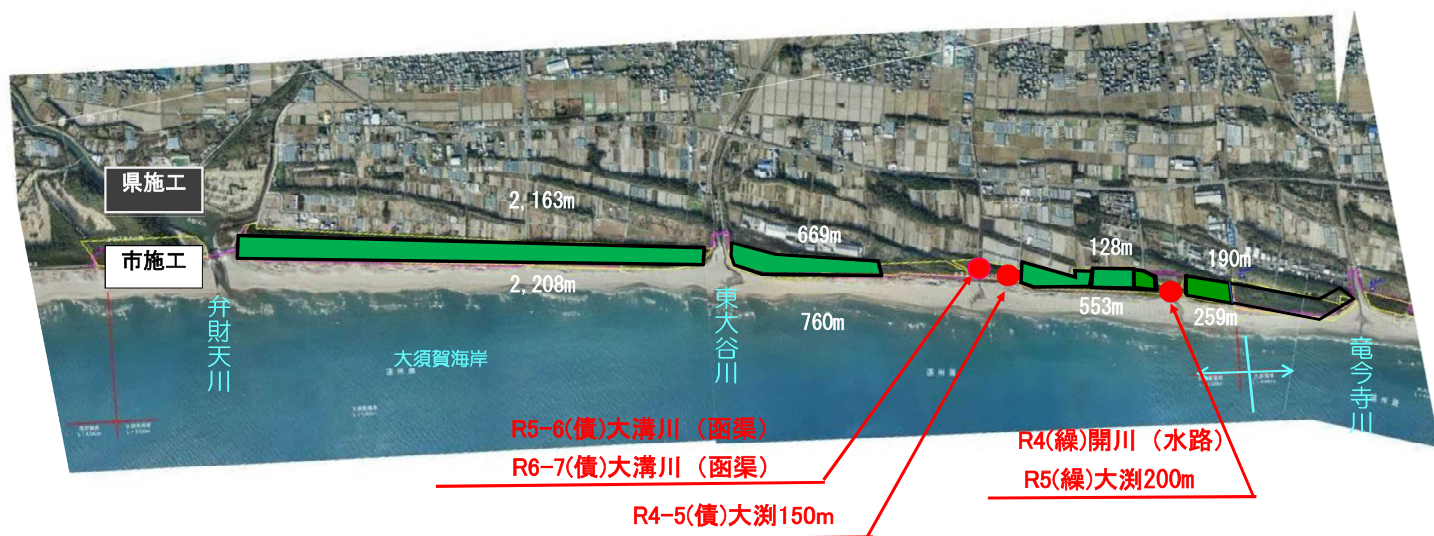
掛川モデル計画延長 L＝9.7km(施設整備9.0km)

R5.12.1時点

		2014(H26)～2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)
砂丘造成盛土工	単年	-	736	981	383	810	550
市施工延長(m)	累計	5,540	6,276	7,257	7,640	8,450	9,000
進捗率	(%)	61.6%	69.7%	80.6%	84.9%	93.9%	100.0%
盛土量	(万m3)	128.8	17.8	18.3	7.9	19.3	7.9
生育基盤盛土工	単年	-	626	638			
県施工延長(m)	累計	3,955	4,581	5,219			

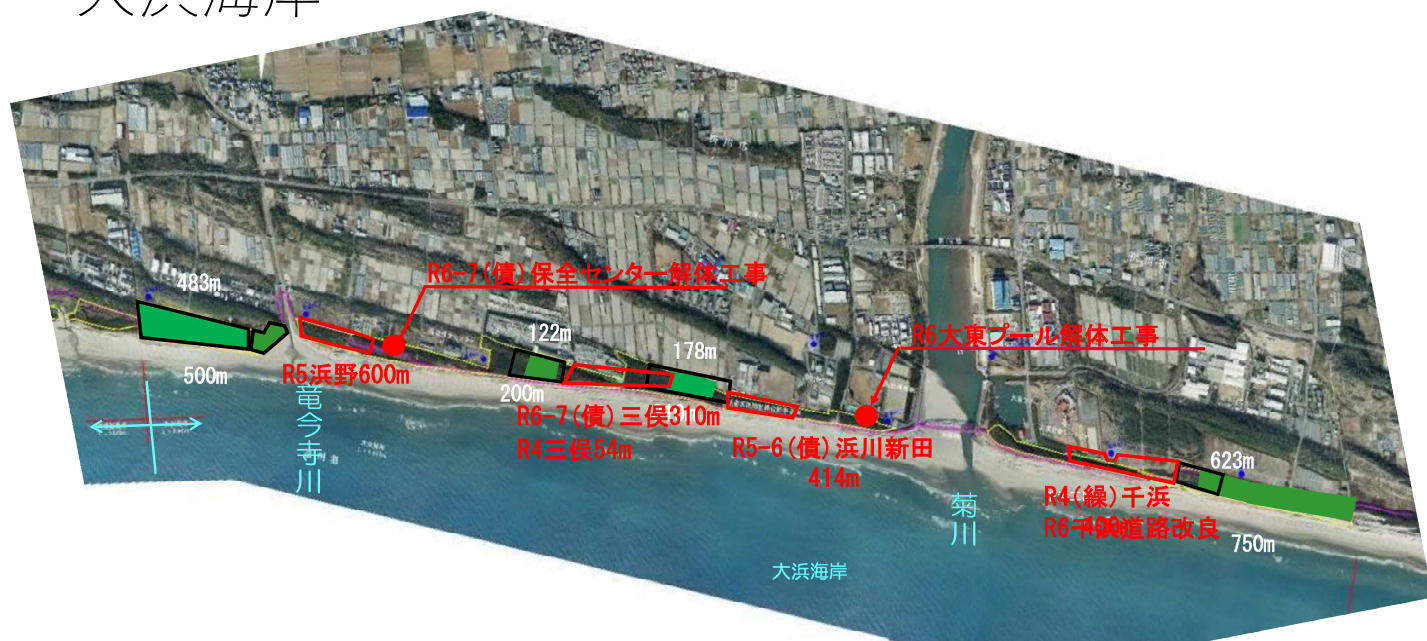
R5事業状況及びR6事業計画

大須賀海岸



R5事業状況及びR6事業計画

大浜海岸



航空写真で見る R5事業状況及びR6事業計画

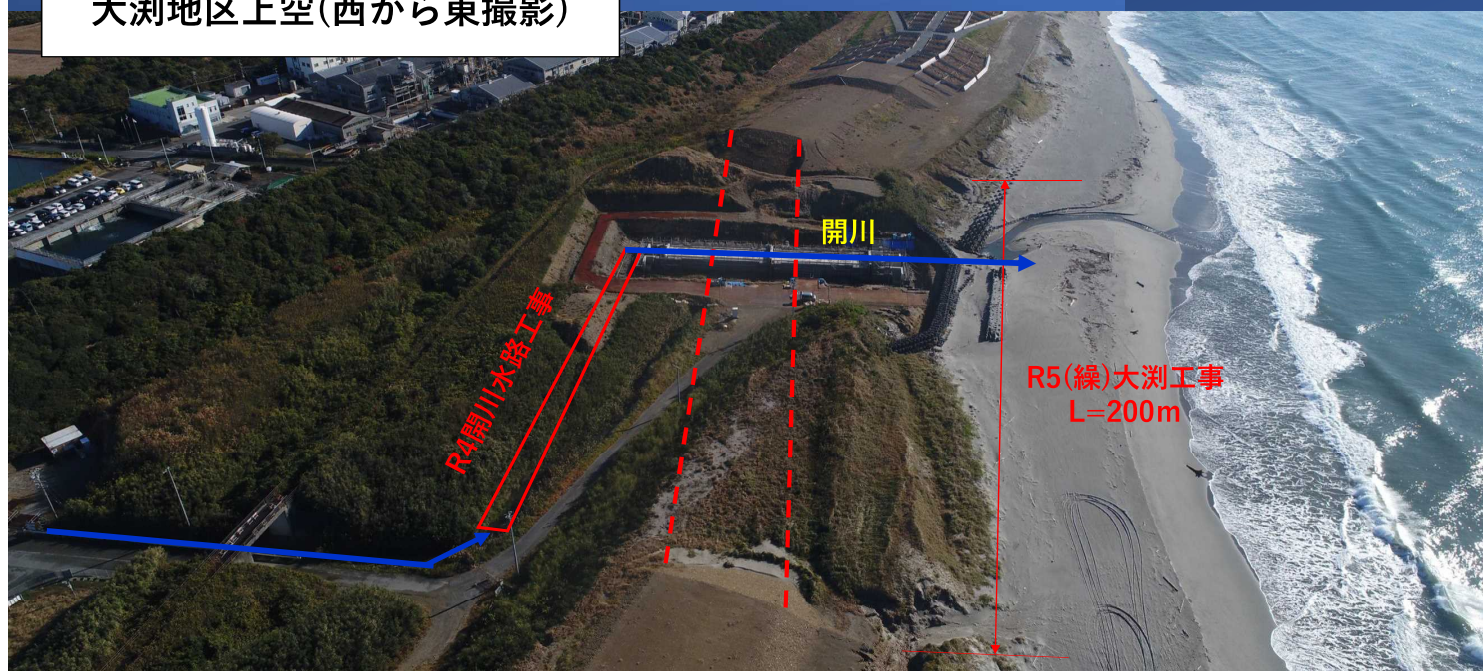
沖之須地区上空(西から東撮影)



大湊地区上空(東から西撮影)



大湊地区上空(西から東撮影)





浜川新田地区上空(西から東撮影)



千浜地区上空(西から東撮影)

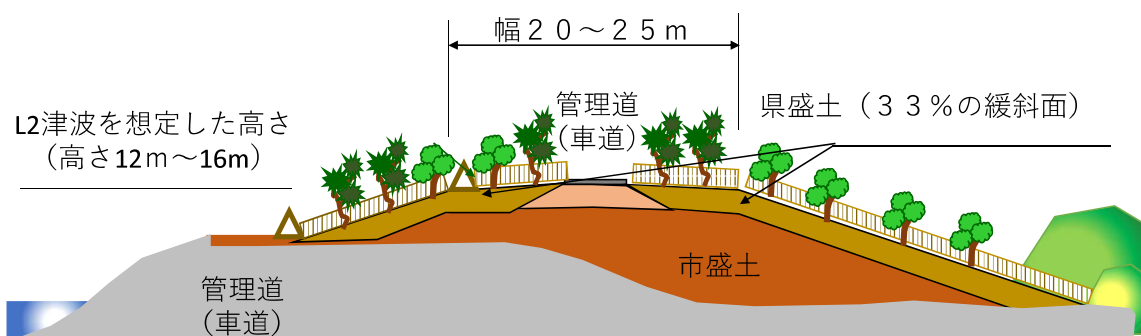




②「掛川モデル」整備後の減災効果

「掛川モデル」のかたち

～地震発生から**5時間決壊しない地盤**として整備～



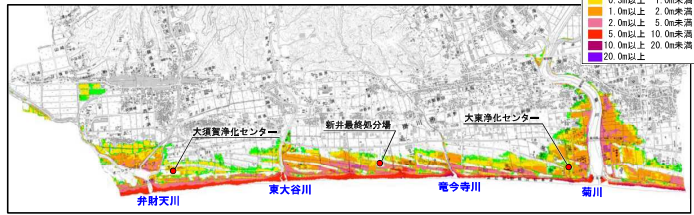
海岸林は津波が来たら、徐々に波に削られる想定です
重要：地震の時は速やかに「より遠く、より高い場所」へ避難！！

海岸防災林強化事業掛川潮騒の社「掛川モデル」整備後の減災効果

レベル2津波来襲時浸水深図（比較図）

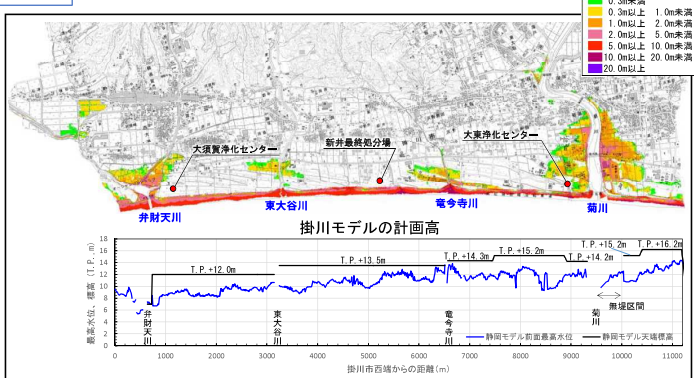
整備前

【浸水面積が最大となるL2津波】：4次想定浸水想定区域図
内閣府(2012)南海トラフ巨大地震モデル（ケース⑥）



整備後

海岸防災林強化事業「掛川モデル」の整備完了後

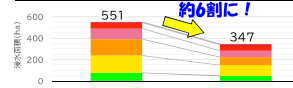


想定される最大クラスの津波
(L2津波) による浸水面積は
約6割に減少！

減災効果

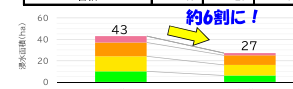
●浸水面積でみる減災効果

浸水深	整備前	整備後	増減
0.3m未満	78	47	-31
0.3m以上 1.0m未満	160	101	-59
1.0m以上 2.0m未満	154	75	-79
2.0m以上 5.0m未満	99	60	-39
5.0m以上 10.0m未満	57	57	0
10.0m以上	5	7	2
合計	551	347	-204



●宅地の浸水面積でみる減災効果

浸水深	整備前	整備後	増減
0.3m未満	10	6	-4
0.3m以上 1.0m未満	14	10	-4
1.0m以上 2.0m未満	13	9	-4
2.0m以上 5.0m未満	6	2	-4
5.0m以上 10.0m未満	0	0	0
10.0m以上	0	0	0
合計	43	27	-16



・本シミュレーションは、地震後も「掛川モデル」の地盤高上げが維持され、津波来襲時もその効果が最大限発揮された場合として、掛川市が独自に行ったものです。
・この比較図については、「掛川モデル」の整備効果を示しているものであり、河川堤防については、整備前と整備後は同様の条件で計算しています。
・地震・津波は自然現象で不確実性を伴うものであり、必ずしもこの想定どおりになるとは限りません。

留意事項

- ・今回作成した津波浸水想定図は、科学的知見に基づき想定される最大クラスの津波が発生した場合の掛川市における津波浸水想定です。
- ・こうした地震・津波の発生頻度は極めて低いものであり、次に発生する地震・津波を示したものではありません。
- ・今回のシミュレーションは、一定の条件を設定して算出したものです。地震・津波は自然現象で不確実性をともなうもので、計算結果と異なる場合もあります。



**掛川モデルが完成しても
地震が来たら、速やかに避難を！！**



大湊地区上空(東から西撮影)



保安林管理道の一般開放について

- 防潮堤完成区間には車両の進入が可能となる保安林管理道（県管理）が整備されます
- 常時開放時の不法投棄、犯罪行為等が懸念されることから開放箇所は各河川スパンごと1箇所程度を想定しています。
- 現時点では3箇所の常時開放を検討しています。
- 開放しない箇所は車両進入ができなくなります。（歩行者は通行可能）
- 一時的（堆砂垣設置等）な通行については、その都度県へ相談してください。



④育樹祭・植樹祭

植樹祭・育樹祭について



R5.2.18 植樹祭を開催



R5.10.21 育樹祭を開催



掛川市海岸線地域ビジョン実施計画について



I 「掛川市海岸線地域ビジョン」とは

東日本大震災以降、津波被害が想定される海岸線地域 マイナスイメージが先行



- ・ 想定される最大クラス（L2）の津波に対応した高さに防潮堤をかさ上げ
⇒ 平成26年度～ 海岸防災林強化事業（掛川モデル）、掛川潮騒の杜づくり
- ・ 海岸線地域の地域資源や魅力を整理し、将来に向けて明るい展望を示す
⇒ 令和3年3月 「掛川市海岸線地域ビジョン」策定



- 海岸線のイメージがより向上するきっかけ “夢のあるエリア”を目指す
⇒ より広く、20年後を見据えた内容 別途、短中期的な実施計画が必要
- 産業界、民間団体、研究機関等、多くの皆さんにこの地域に関心を持ってもらい、議論や連携、具体的な取組みが進むことを期待
⇒ 行政だけでなく、市民、企業、各種団体との連携・協働により推進



2 実施計画の概要

(1) 「実施計画」とは

海岸線地域ビジョンを具現化 地域に望まれ、地域に役立つ計画
地域住民や関係団体などとの対話をもとに具体的な事業内容を示したもの



- | | |
|--------------------------|----------|
| ①地域住民や関係団体等とのワークショップ | 3回（20人） |
| ②庁内推進会議 | 3回（22人） |
| ③海岸線地域市議会議員との意見交換会 | 4回（8人） |
| ④パブリックコメント（R5.5.22～6.20） | 29件（14人） |

⇒ 令和5年7月 「掛川市海岸線地域ビジョン実施計画」策定

(2) 計画期間

令和6年度から10年度までの5年間における目標を明確にして取り組む
以後、社会情勢や市民ニーズなどを考慮し、5年毎に見直し（ローリング方式）



2 実施計画の概要

(3) 計画策定の理念

①「成長社会」から「成熟社会」へ

既存の資源を有効に活用 個性や魅力を磨き上げる 暮らしの質と活力を高める

②ここでしかできない体験を

「コト」消費への関心の高まり 価値観の多様化 地域の本質に触れる体験

③ハードとソフトの融合

仏作って魂入れず ハード整備を地域資源として利活用 ソフト事業と融合

④まず動いてみる

スモールスタート 徐々に質を高め、ステップアップ 質と量の拡大

⑤持続可能なまちづくり

連携・協働・共創 生涯学習都市 SDGs未来都市 報徳の精神



2 実施計画の概要

(4) 計画の特徴

- ・ビジョンに掲げる3つの柱、14の取組み、31のプロジェクトから構成される枠組みに、17分野91事業を計画
- ・「菊川」「大溝川」「弁財天川」の河口周辺を事業推進の重点エリアに設定
- ・リーディングプロジェクト 計画全体を先導、地域全体への波及効果を期待
↳「掛川潮騒の杜」の整備に合わせた公園やトイレ、展望スポットの整備、イベントの開催、既存施設の利活用など



市民・企業・各種団体・行政等が連携・協働することで、
海岸線地域に人の動きが生まれ、地域住民が幸せを実感し、
地域への誇りや愛着が高まる持続可能なまちづくりを目指す

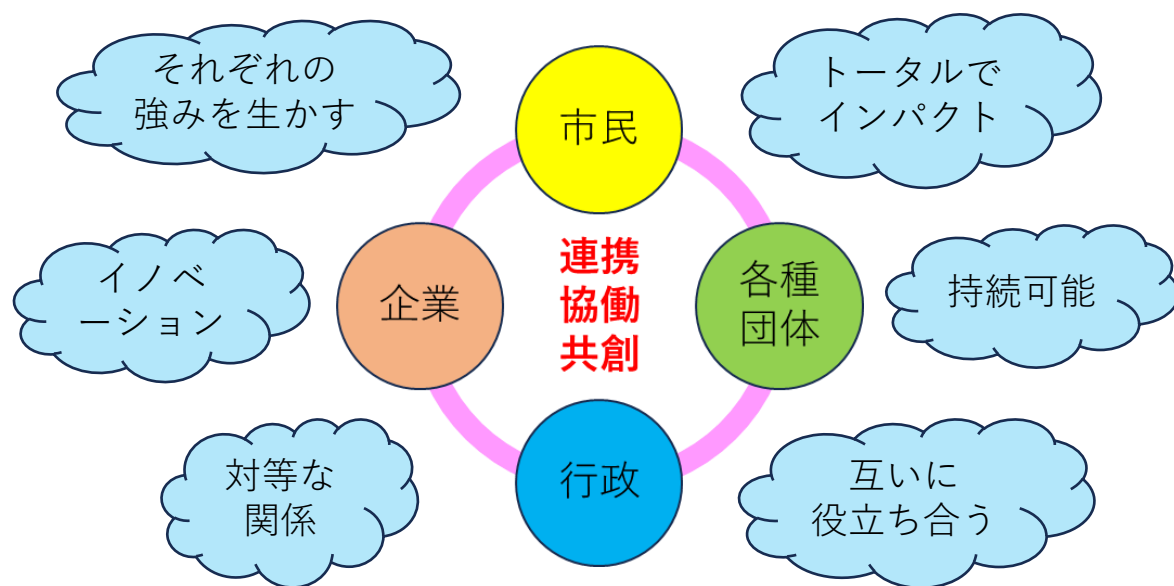


2 実施計画の概要

(5) 計画の実現に向けて

- ・各事業の実施には、市民・企業・各種団体・行政等の**連携・協働**が不可欠
- ・今後も**対話**や**意見交換**を行いながら、より具体的な事業内容を検討していく
- ・将来を予測するのが困難な時代、変化に**柔軟**に対応した進捗管理を行う

みんなで一緒に海岸線地域を動かしていきましょう！



Keep on going!

